

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	道路維持一般事務			
予算科目	8 款	2 項	2 目	
総合計画での位置付け	都市基盤の整備 道路・交通基盤の整備			
所管課情報	担当課:	道路河川課	電話番号(内線):	578
記入者情報	所属長:	上坂 博一	担当責任者:	木曾 信之
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	道路利用者			
根拠法令等				
事業の目的	市道の適正な維持管理に努め通行の安全を確保する。			
事業の内容	市道の維持修繕事業実施に係る燃料費、使用料の支払い事務。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	事務執行に必要な経費であるが、事業執行においては更なる経費縮減に向けた取り組みが必要である。			
改善策の 具体的 取り組み	なし			

事業費及び財源内訳					
項 目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	115	180	51	114
	人件費	799	813	406	813
	合計	0	993	457	927
人件費 内訳	人工数	0.10	0.10	0.05	0.10
	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	799	813	406	813
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	914	993	457	927

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
需用費(公用車燃料費)	千円	96	120	51	99

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
	220	220	220	0	0	660

成果指標				
成果指標	決算額÷予算額=執行率(0.95以下を目標とする)			
指標設定の考え方	予算の執行率でコスト縮減が図られているか検討する。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目 標	0.95	0.95	0	0
実 績	0.8	0.63	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	道路維持を行うために必要な燃料費(公用車がソリン代)の予算措置を行い、適正な予算執行管理を行う。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	事務執行に必要な経費である。目標設定数値及び前年度支出金額を下回り、経費節減ができている。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題